



▲市の基幹産業である農業。農業者が将来に希望が持てるよう、担い手育成・持続的発展のための施策が必要です。



▲北村山高校と地域・産業・行政が一体となった魅力ある教育環境の整備が求められています。



▲「子育て日本一への挑戦」を掲げる尾花沢。子どもを産み育てられる環境づくりと経済基盤の確保が必要です。



▲豪雪地帯でも市民が安全安心に暮らせる雪対策が求められています。



▲災害など不測の事態に従事する消防団。安全安心な暮らしに欠かせない存在です。



▲人口減少・高齢化する中、路線バスに代わる公共交通の運行も試行されています。

## その他の要望事項

### 地域の発展に関すること

地域交通網の維持に向けた取組みへの財政支援（高齢者おもしろタクシー事業、福祉タクシー事業、生活交通タクシー助成事業、タクシーを活用した公共交通再編事業）  
● 保育料の段階的無償化の早期実現  
● 一般国道37号の24時間通年通行化の整備促進およびバイパス化など改良整備促進  
● 老朽化した公共施設の解体経費に対する財政支援  
● 地方交付税の総額確保と財源保障機能の維持

### 産業に関すること

● 過疎地域における企業振興策の充実  
● 本市の基幹産業である農業・農山村の振興が図られるよう、各種制度の継続・拡充  
● 新型コロナウイルス感染症対策として実施した利子・保証料補給に対する令和8年度以降の財政支援

### 教育に関すること

● GIGAスクール構想を維持継続するための財政支援

### 市民の安全・安心に関すること

● 消防防災施設整備事業に係る補助対象設備の拡充  
● 消防団員報酬の見直しに係る財政支援  
● 国道37号北町地内十字路への交通安全施設（信号機）の整備促進

### 医療に関すること

● 子育て支援医療制度の拡充  
● 診療所運営経費への財政支援  
● 国民健康保険制度への財政支援と充実強化  
● 北村山公立病院への財政支援

### 社会基盤の整備に関すること

● 道路（橋梁等）等長寿命化対策に係る点検診断費用への財政支援  
● 雪国の安全・安心な暮らしを守る雪対策に対する財政支援等の拡充  
● 東北中央自動車道の建設促進  
● 市道・県道の整備促進  
● 一級河川「沢の川」の河川改修  
● 河川流下能力向上事業の促進  
● 土砂災害対策事業の整備促進  
● 流雪溝への導水に伴う水利権の許可  
● 一般県道東根尾花沢線の改良整備

令和4年度にむけて

# 市重要事業要望活動を実施



市では今年度「第7次尾花沢市総合振興計画」および「第2期尾花沢市総合戦略」がスタートしました。  
新たな将来像「このまちで ともに 生きる しあわせな時を刻むまち 尾花沢」の実現を目指し、一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを推進するため、国や県に対し、来年度の概算要求前の時期に合わせて、事業の推進や制度改正等28項目について要望活動を行いました。

※写真：5月25日に県庁を訪れ、吉村知事へ要望書を手渡す菅根市長と大類市議会議長。（また5月20日には、国土交通省山形河川国道事務所に対しても要望活動を行っています）

### 若者の地元定着とふるさと 帰りの推進について

① 県内就労を促すための施策として、市町村と連携した広域的な取組みを推進すること。  
② テレワーク等の活用により県内に住み続けながら都市部と変わらない仕事ができるよう、若者をターゲットに就労相談の充実を図ること。また、「（社）ふるさと山形移住・定住推進センター」が移住・定住の中核的な機能を発揮できるよう、県、市町村、産業界、大学等が「一丸となった取組みを強力に推進すること」。

### 北村山高校における特色ある 高校教育の実現に向けた 探究型学習の充実について

高校生が地域課題を探究する学習や企業での職場体験、インターシップなどを通じて、地元の人と関わりながら地域の特色ある姿や魅力、仕事、職業観などについて学ぶことができるよう、より一層の連携と包括的な支援を推進すること。  
令和4年度からスタートする新学習指導要領では、「総合的な探究の時間」が必修となり、高校生の主体的で協働的な学びの環境整備が求められています。  
市では、本市唯一の高校である県立北村山高校が地域との連携により魅力的な教育ができるよう、今年度北村山高校と協力して「新庄・最上ジモト大学尾花沢キャンパス」を開講します。地域学習を通じて北村山高校生の主体的な学びが育まれ、これにより市の未来を担う人材育成と定着につながることを期待しています。  
企業、地域、学校、行政が連携して探究型の学びをより一層推進し、特色ある高校教育が実現されるよう要望しました。